

3Q 2022

決算説明資料

2022年5月13日(金)

東証グロース：3300

Section 1

決算概要 2022年6月期3Q（全社）

P.3

Section 2

決算概要 2022年6月期3Q（セグメント別）

P.11

Section 3

方針

P.27

Section 4

業績予想（通期）2022年6月期 配当予想

P.44

Section 5

直近のTOPIX

P.47



Section 1

決算概要

2022年6月期 3Q
(全社)

減収・大幅増益

Point
01

全社

- ・ **DX推進による事業変革**を推進中
- ・ 賃貸DXプロパティマネジメント事業のDXを優先的に推進
次世代管理システム「AMBITION Cloud」の構築中（8割完成）

Point
04

【売買DX】 インベスト事業

- ・ **計画通りに推移**

Point
02

【賃貸DX】 プロパティマネジメント事業

- ・ **売上高：8.7%増加**
- ・ **管理戸数：9.5%増加**（対前年同四半期）

Point
05

インキュベーション事業

- ・ 保有株式の一部売却が収益に**大幅寄与**

Point
03

【賃貸DX】 賃貸仲介事業

- ・ **想定以上の利益：71.8%増加、56百万円増加**（対前年同四半期）
- ・ 広告戦略の強化によるWEB集客が好調
- ・ リモート接客・VR内見・電子契約など、
非対面サービスの強化などの集客施策が奏功

減収・大幅増益

方針：「DX推進による既存ビジネスの変革と不動産DX事業の成長」

売上高	22,570百万円	増減比	▲4.7%	増減額	▲1,116百万円	(前年同四半期	23,683百万円)
営業利益	1,178百万円	増減比	+41.2%	増減額	+343百万円	(前年同四半期	835百万円)
経常利益	1,037百万円	増減比	+37.8%	増減額	+283百万円	(前年同四半期	752百万円)
四半期純利益※	590百万円	増減比	+25.6%	増減額	+120百万円	(前年同四半期	470百万円)

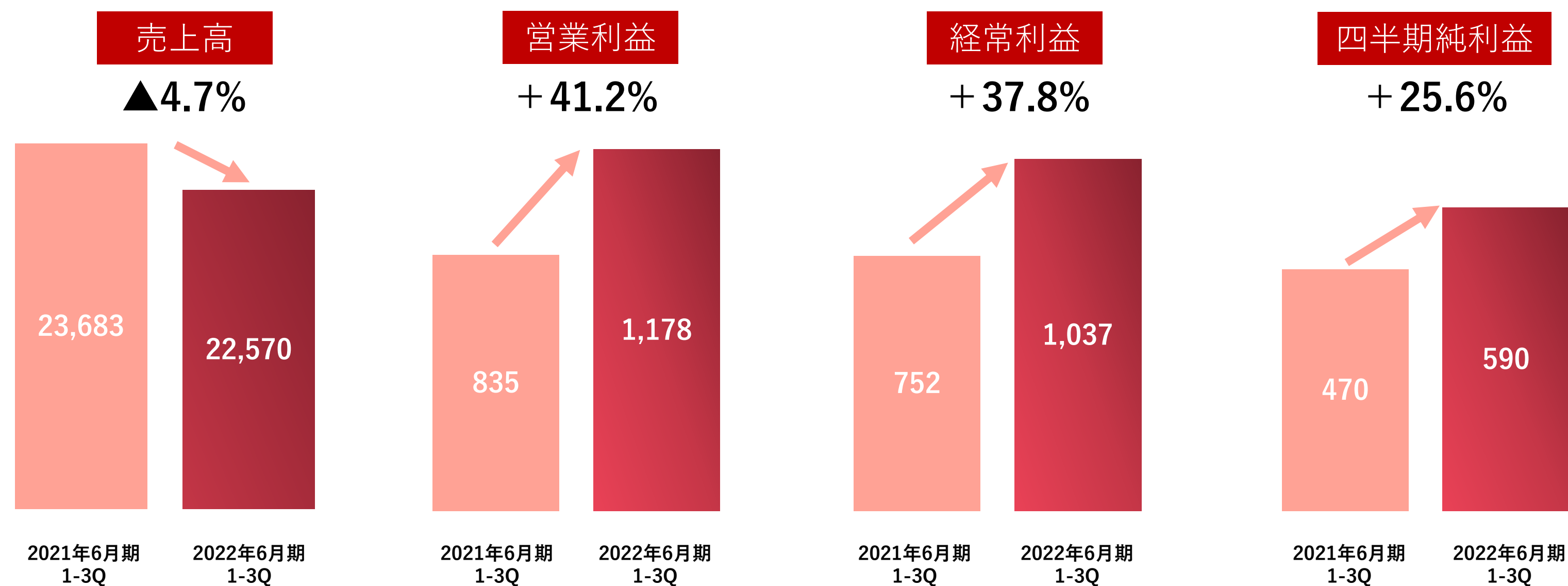
※親会社株主に帰属する四半期純利益

【賃貸DX】プロパティマネジメント事業 増収：管理戸数約9.5%増加。

【賃貸DX】賃貸仲介事業 収益：想定以上。利益：+56百万円増加（対前年同四半期）リモート接客強化やDX施策による。

【売買DX】インベスト事業：販売数は想定通り。

【インキュベーション事業】投資有価証券の一部売却により収益に貢献。



減収・大幅増益

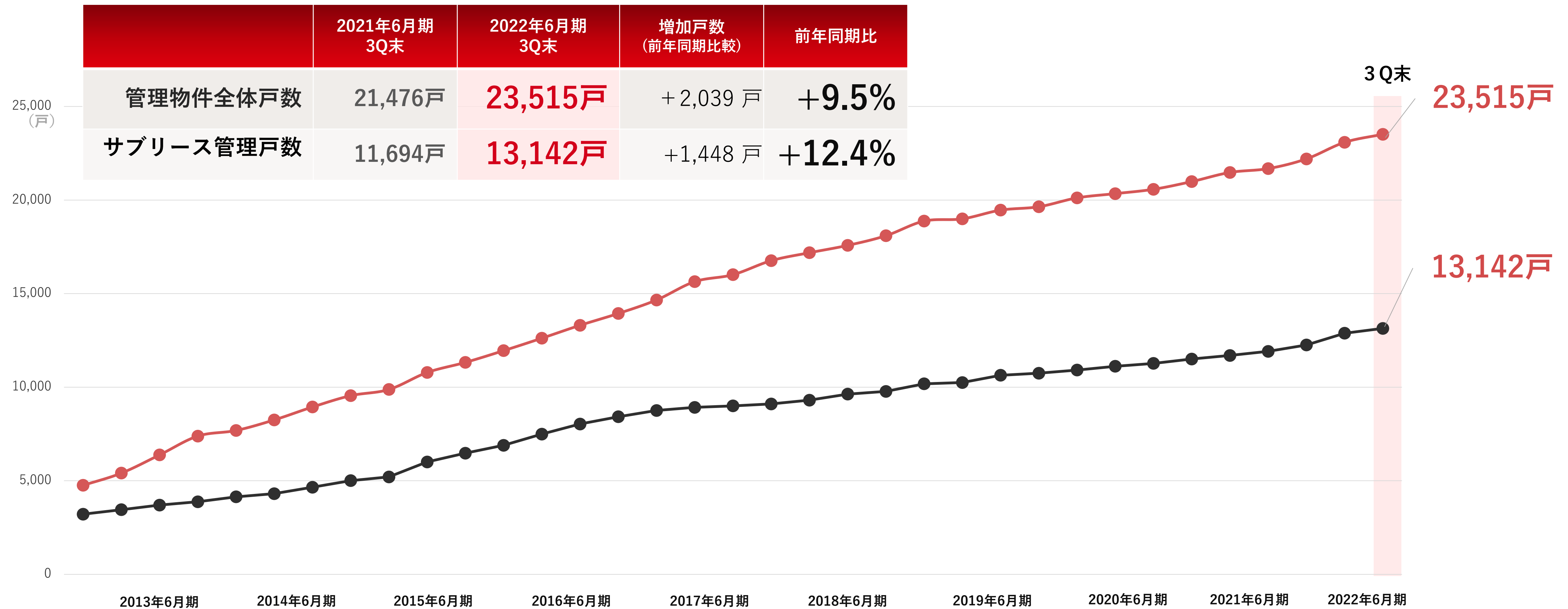
(単位：百万円)	2021年6月期 1-3Q 実績	2022年6月期 1-3Q実績	増減比	増減額
売上高	23,683	22,570	▲4.7%	▲1,112
売上総利益	4,262	4,569	+7.2%	+307
販売管理費及び一般管理費	3,427	3,391	▲1.0%	▲36
EBITDA※	1,024	1,371	+33.8%	+346
営業利益	835	1,178	+41.2%	+343
経常利益	752	1,037	+37.8%	+284
税金等調整前四半期純利益	807	995	+23.2%	+188
親会社株主に帰属する四半期純利益	470	590	+25.6%	+120

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + ソフトウェア減価償却費 + のれん償却費

(単位：百万円)	2021年6月期 (2021年6月30日)	2022年6月期 (2022年3月31日)	増減額
流動資産	13,079	14,163	+ 1,084
固定資産	4,564	4,007	▲557
繰延資産	4	3	▲1
資産合計	17,648	18,174	+ 525
流動負債	4,728	7,070	+ 2,342
固定負債	9,067	7,565	▲1,501
純資産	3,852	3,537	▲314
負債純資産合計	17,648	18,174	+ 525

管理戸数：継続して増加

管理戸数・サブリース管理戸数の推移

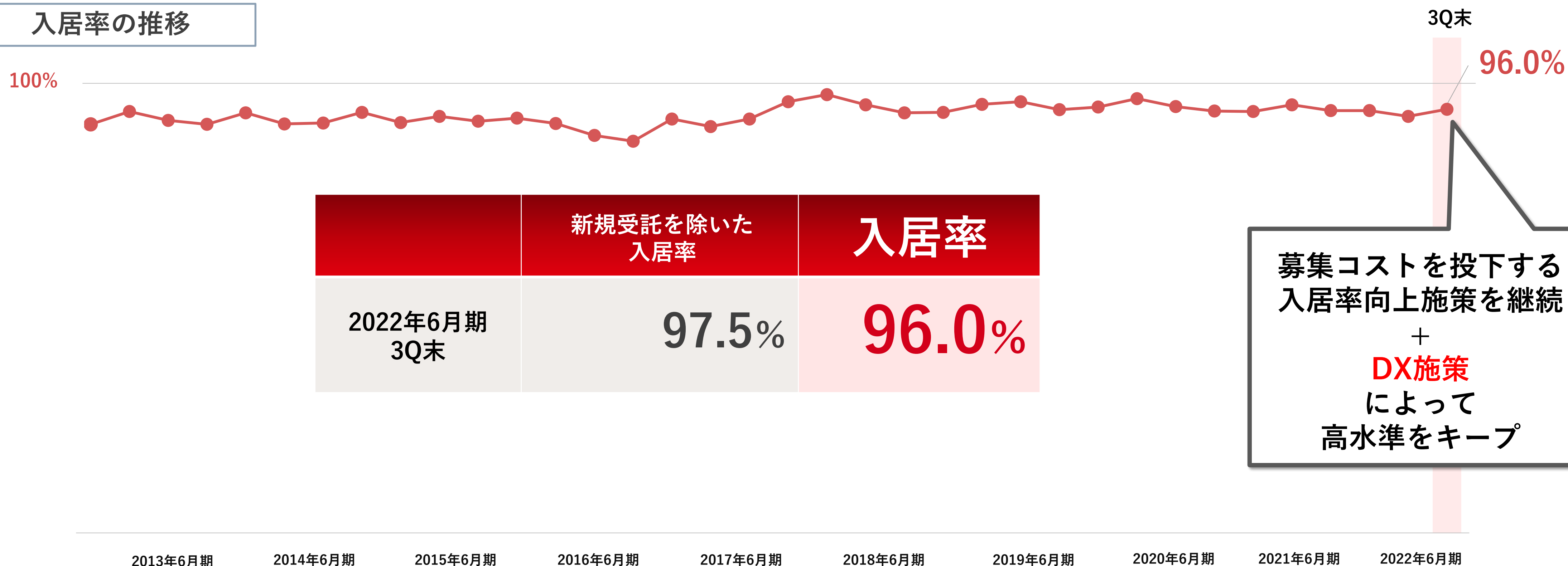


高水準の入居率をキープ

【特長】

- 管理物件：デザイナーズなどハイクオリティなワンルームマンション中心
- エリア：東京（23区中心）＋ 神奈川・千葉・埼玉の一都三県に集中
- ターゲット層：若年層向け中心

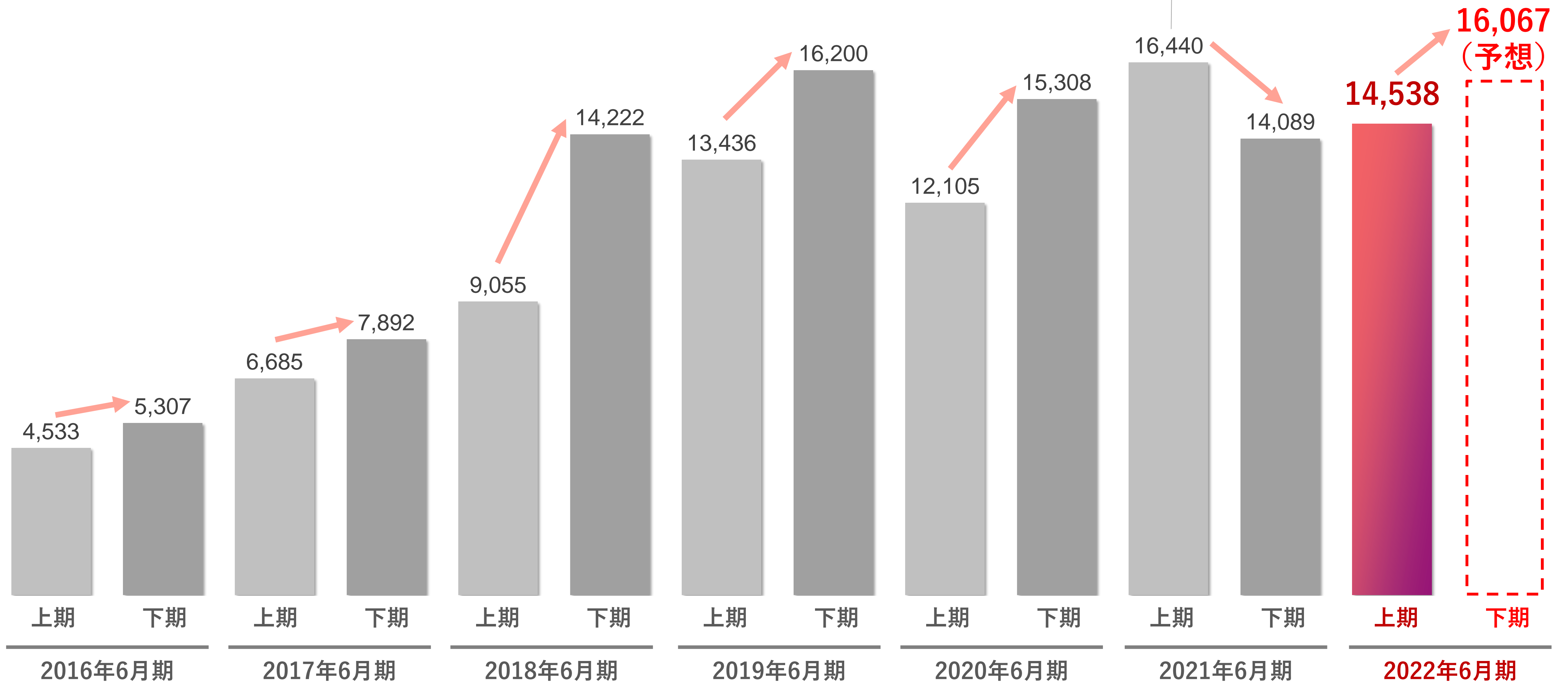
入居率の推移



賃貸DX※の繁忙期が3Q以降のため 売上高は例年下期偏重傾向

※賃貸DX：プロパティマネジメント事業＋賃貸仲介事業

2020年6月期下期計上予定の物件が、コロナの影響で、一部2021年6月期上期に後ろ倒しとなり販売が集中





Section 2

決算概要

2022年6月期 3Q
(セグメント別)

5つの事業セグメント

【賃貸DX】
プロパティマネジメント事業

- ◆ 住居用不動産の転貸借（サブリース）事業と賃貸管理事業
- ◆ 業務効率化を促進する次世代管理システム『AMBITION Cloud』の構築に注力

【賃貸DX】
賃貸仲介事業

- ◆ 当社の管理物件を中心に賃貸物件の仲介事業
- ◆ 子会社アンビション・エージェンシー(『ルームピア』を運営)、及び同VALOR(『バロー』を運営)にて、都内6店舗、神奈川県7店舗、埼玉県1店舗の計14店舗を展開
- ◆ 当事業のリーシング力の高さがプロパティマネジメント事業における高入居率の維持に貢献

【売買DX】
インベスト事業

- ◆ 子会社ヴェリタス・インベストメント：自社開発の新築投資用ワンルームマンション販売を中心に展開
- ◆ 当社インベストメント部：多様なルートからの物件仕入れ力により、立地を重視した分譲マンションのリノベーション販売

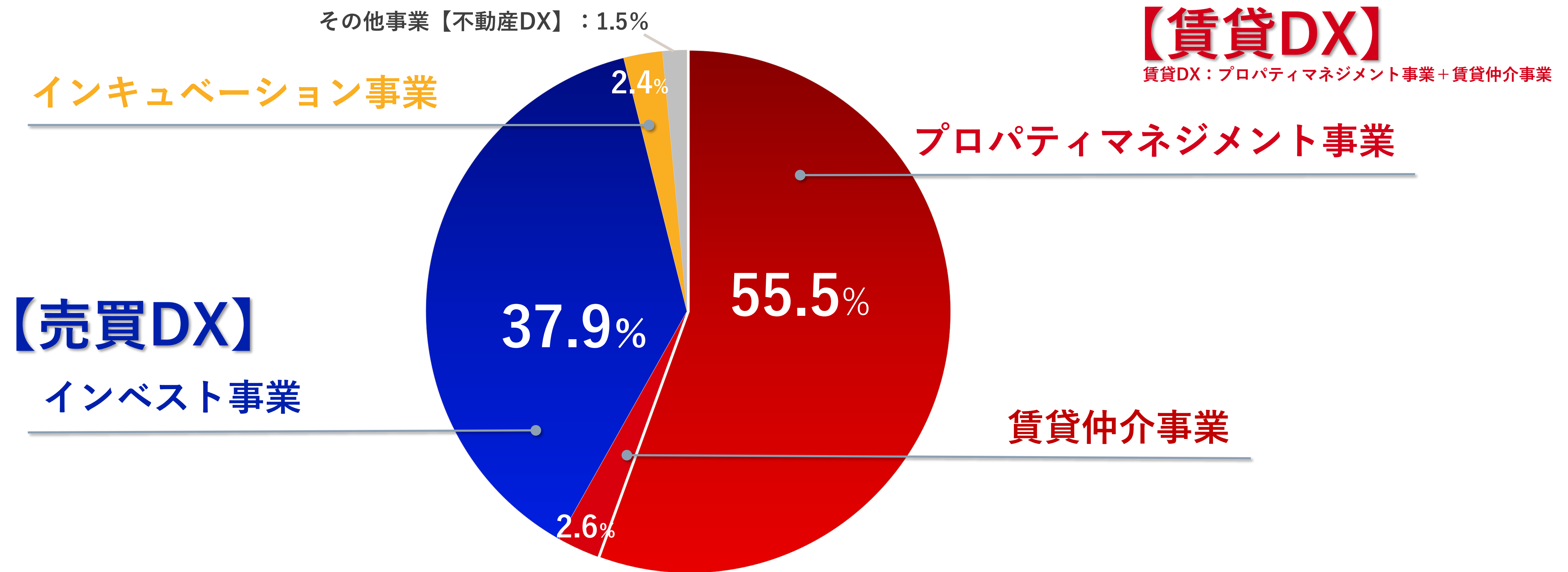
インキュベーション事業

- ◆ 子会社アンビション・ベンチャーズ：当社グループと親和性の高い事業を行うベンチャー企業に投資
- ◆ 資本業務提携にて投資先企業の支援を行いIPO等により収益を得る事業

【不動産DX】
その他事業

- ◆ 不動産DX事業(リテックラース)
- ◆ 少額短期保険事業 (HOPE)
- ◆ 海外システム(アンビションベトナム)
- ◆ ホテル事業

【賃貸DX】の売上比率が約6割を占める



2022年6月期1-3Q

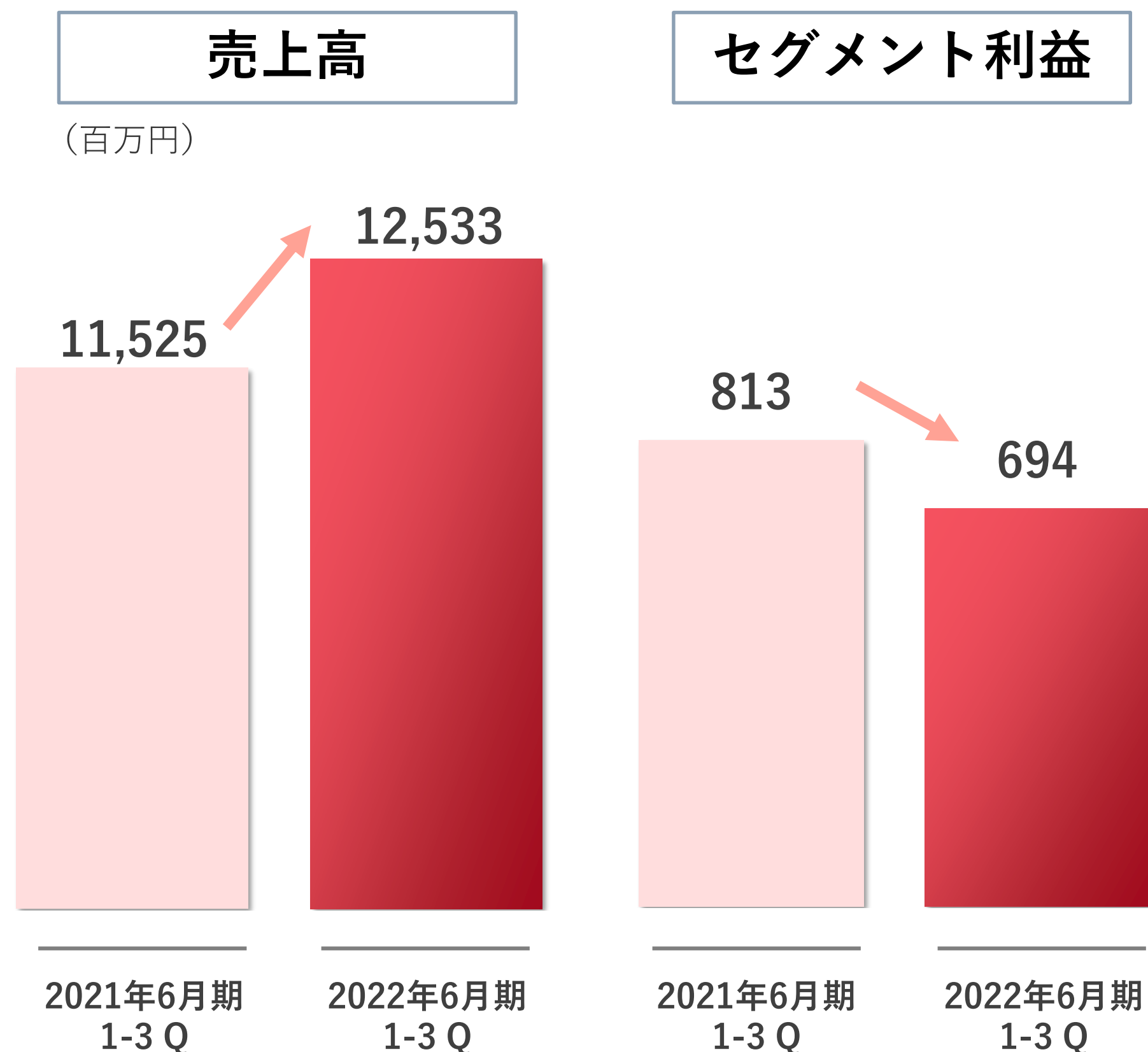
【賃貸DX】

プロパティマネジメント事業

当社事業部を中心に、
ヴェリタス・インベストメント、VALORでも一部展開

増収・減益

売上高： 12,533百万円 増減比 +8.7% 増減額 +1,007百万円 (前年同四半期 11,525百万円)
 セグメント利益： 694百万円 増減比 ▲14.7% 増減額 ▲119百万円 (前年同四半期 813百万円)



要因

増収：管理戸数の増加
 減益：入居率向上施策やDX投資によるコスト増加

【KPI】順調に推移

- ・管理戸数：23,515戸（前年同期比2,039戸増、+9.5%増）
- ・サブリース管理戸数：13,142戸（前年同期比1,448戸増、+12.4%増）
- ・入居率：96.0%（新規受託を除いた入居率97.5%）
 入居率向上施策により高水準をキープ

【今期の取り組み】

次世代管理システム『AMBITION Cloud』（業務効率化の促進）の構築に注力

【賃貸DX】 賃貸仲介事業

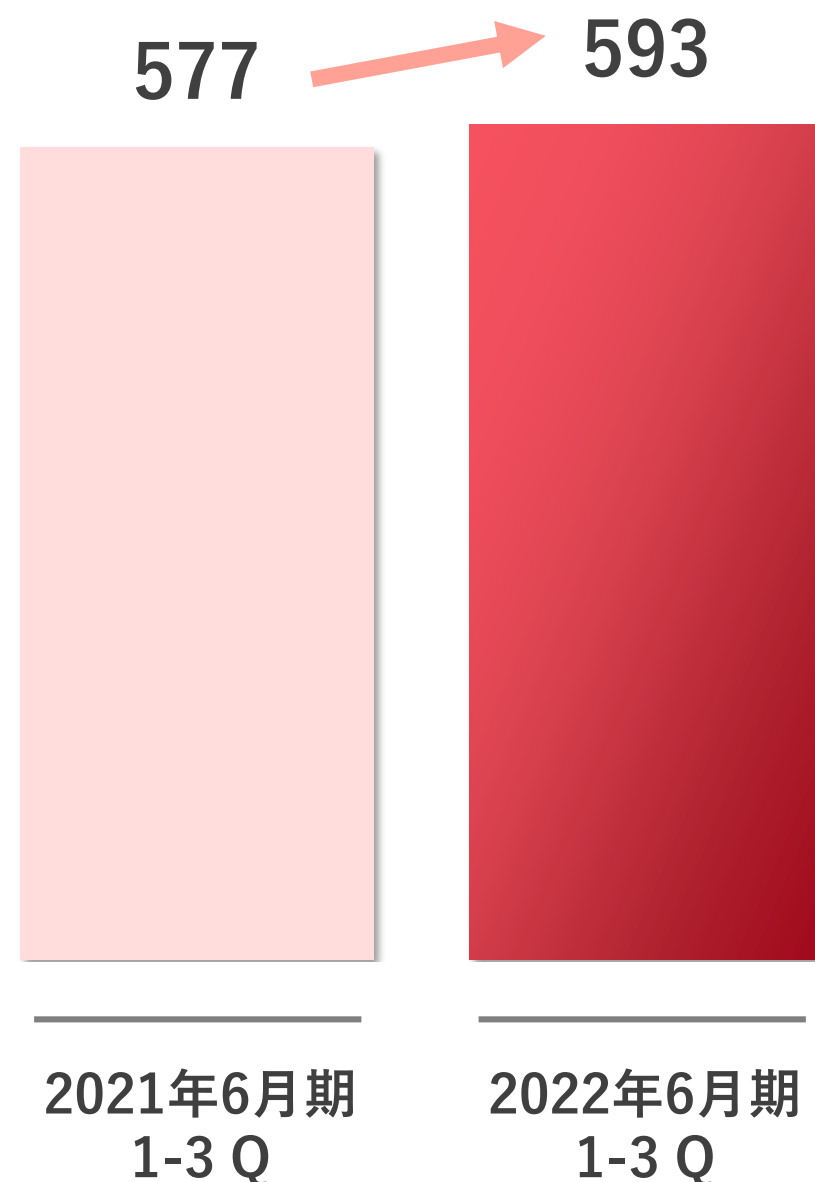
アンビション・エージェンシー、VALORの他
アンビション・レント、アンビション・パートナーでも展開

増収・増益

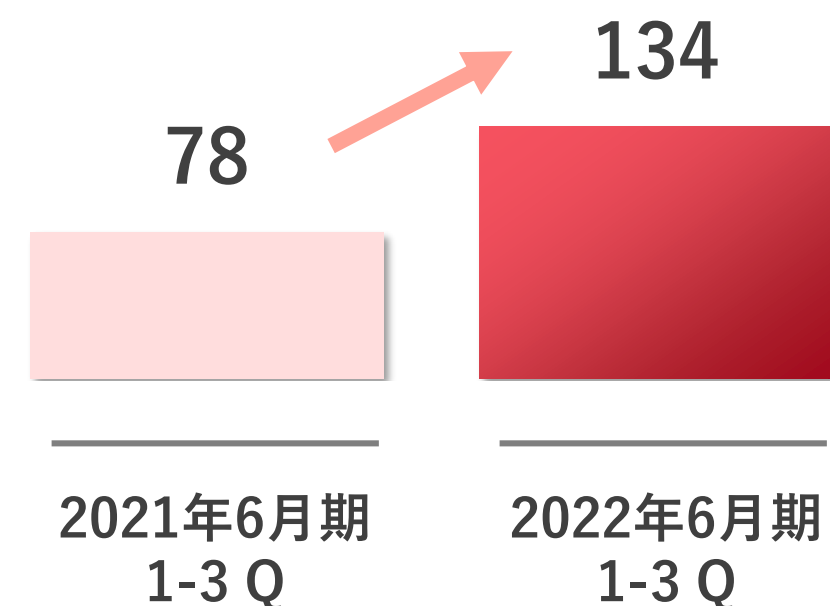
売上高：	593百万円	増減比	+2.8%	増減額	+16百万円	(前年同四半期	577百万円)
セグメント利益：	134百万円	増減比	+71.8%	増減額	+56百万円	(前年同四半期	78百万円)

売上高

(百万円)



セグメント利益



要因

- ・ 1店舗あたりの生産性向上により、閑散期である第1四半期として初の黒字化を達成し、第3四半期においても引き続き順調に推移
- ・ AI×RPAツール『ラクテック』の活用により、入力業務の人員削減反響数の大幅アップに成功
- ・ 広告戦略の強化によるWEB集客が好調である他、リモート接客・VR内見・電子契約など非対面サービスの強化などの集客施策が奏功

【特徴】

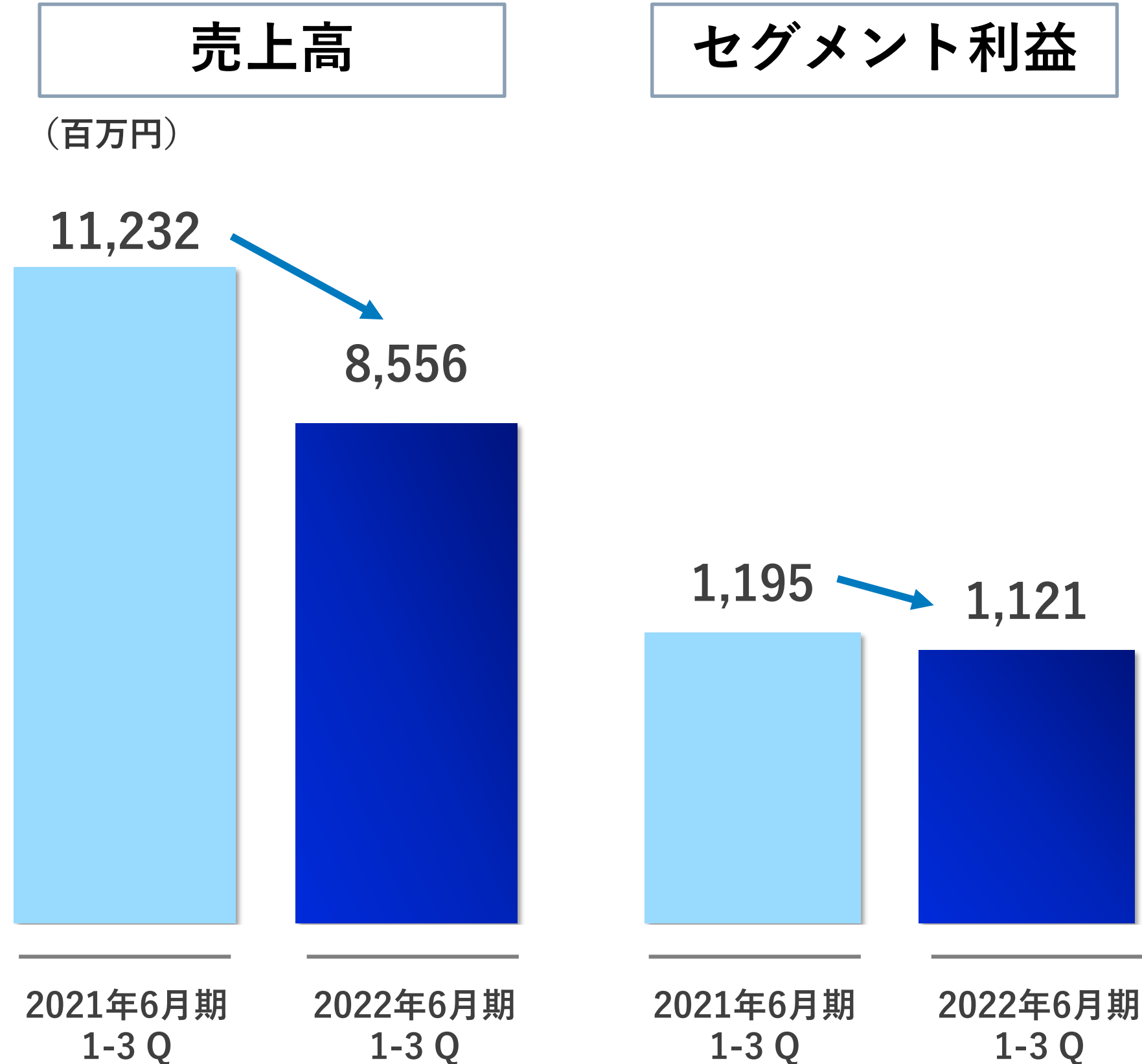
- ・ 『ルームピア』（子会社：アンビション・エージェンシー）、『バロー』（子会社：VALOR）という屋号で都内6店舗、神奈川県7店舗、埼玉県1店舗の計14店舗を展開
- ・ 当3Qに、“革新的DX店舗”となる「ルームピア上野御徒町店」を2月にオープン。更に、会員制シェアオフィスと提携を行いアクセスのよいロケーションの店舗が19拠点増加。

【売買DX】 インベスト事業

ヴェリタス・インベストメント、当社インベスト部で展開

業績は計画通り

売上高： 8,556百万円 増減比 ▲23.8% 増減額 ▲2,676百万円 (前年同四半期 11,232百万円)
 セグメント利益： 1,121百万円 増減比 ▲6.2% 増減額 ▲73百万円 (前年同四半期 1,195百万円)



要因

業績は計画通り推移。

2022年度1-3Qの販売数は計画通り推移。

- ・ヴェリタス・インベストメント（子会社）：188戸
- ・当社インベスト部：65戸

ヴェリタス・インベストメント（子会社）の開発案件は、計画通り下期に竣工予定。

インキュベーション事業

2022年6月期第2四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「インキュベーション事業」について報告セグメントとして記載する方法に変更

アンビション・ベンチャーズで展開

(2022年6月期第2四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「インキュベーション事業」について報告セグメントとして記載する方法に変更)

売上高： 542百万円

セグメント利益： 515百万円

- ・ 投資先企業の投資有価証券の一部を売却
- ・ 累計投資先22社のベンチャー企業へ投資（上場済：3社）



【不動産DX】 その他事業

- 不動産DX事業(Re-Tech RaaS)
海外システム(アンビションベトナム)
- 少額短期保険事業(ホープ)
- ホテル事業(当社)

収益改善 (赤字縮小)

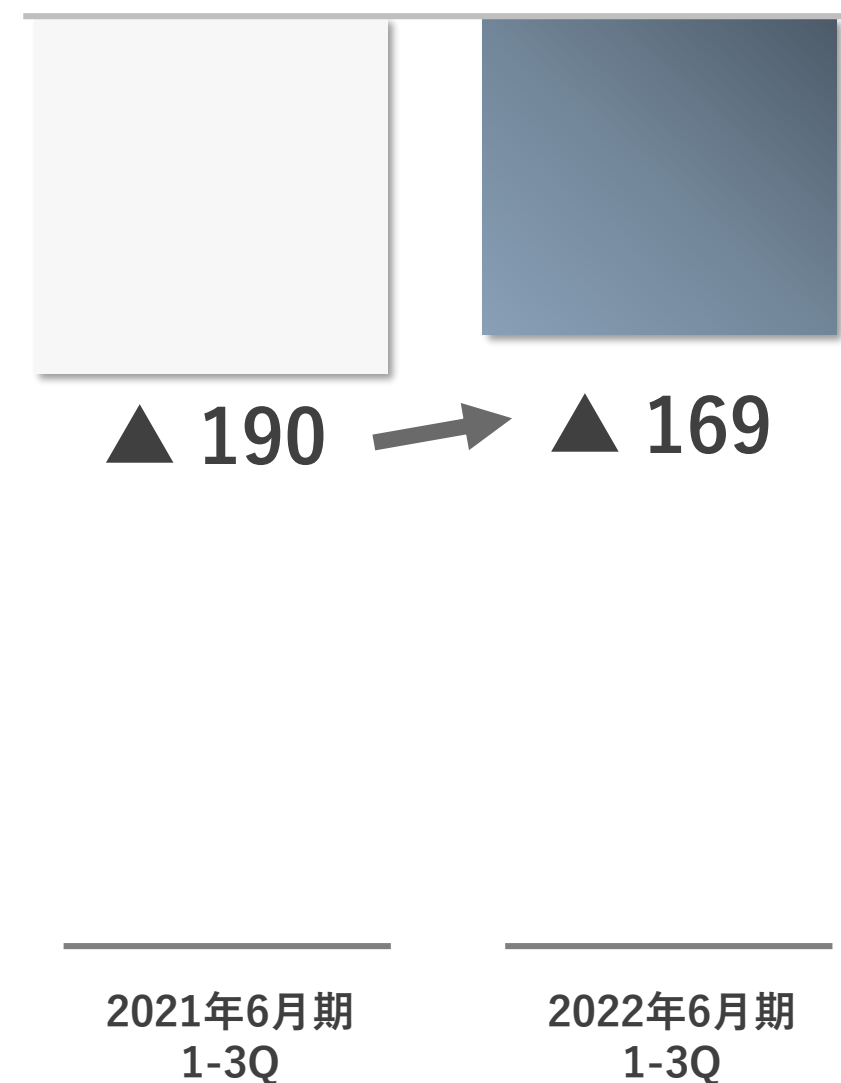
売上高： 344百万円 増減比 ▲0.7% 増減額 ▲2百万円 (前年同四半期 347百万円)
 セグメント利益： ▲169百万円 増減比 - % 増減額 +21百万円 (前年同四半期 ▲190百万円)

売上高

(百万円)



セグメント利益



取り組み

【不動産DX事業】

- ・ 賃貸管理の次世代管理システム『AMBITION Cloud』開発中 (海外子会社のアンビションベトナム)
- ・ 子会社Re-Tech RaaS (リテックラース) のAI×RPAツール『ラクテック』の機能拡充を実施し、2021年12月には新ブランド「ラクテック自動入力」のリリース
- ・ お部屋探しアプリ『ルームコン』本格稼働による登録ユーザー数増加中 (当社グループ初のtoCマッチングアプリサービス)
- ・ 2021年5月12日の国会でデジタル改革関連法成立、不動産業において重要事項説明書等の書類手続き (宅地建物取引業法第34条、第35条、第37条関連) の電子化が2022年5月18日より可能
- ・ IT重説と弁護士ドットコム株式会社の電子契約システム「クラウドサイン」との連携による電子契約パッケージを2021年8月より賃貸DX賃貸仲介事業でテスト導入を開始
- ・ 2022年3月、ブロックチェーン (分散型台帳) 技術を活用した独自の電子サイン「AMBITION Sign」の提供も開始

【少額短期保険事業】

- ・ 順調に新規契約を獲得
- ・ 前期の黒字転換を受け責任準備金の積み立て方式変更に伴い、今期は一時的に赤字計上の予定
- ・ 新システム『MONOLITH (モノリス)』申込みから支払いまでペーパーレスを実現

【ホテル事業】 インバウンド需要の減少、1施設の解約

全ての不動産業務を一気通貫で網羅

一
気
通
貫

(不動産業)		アンビションDX ホールディングス	デベロッパー 会社	不動産販売 会社	買取再販 会社	賃貸管理 会社	不動産仲介 会社
デベロップメント業	土地の仕入	○ 子会社：ヴェリタス・インベストメント	○	×	×	×	×
	建築	○ 子会社：ヴェリタス・インベストメント	○	×	×	×	×
	販売	○ 子会社：ヴェリタス・インベストメント	○	○	×	×	×
買取再販業	仕入・販売	○ アンビションDXホールディングス	×	×	○	×	×
オーナー業	賃貸管理	○ アンビションDXホールディングス	×	×	×	○	×
仲介業	客付	○ 子会社：バロー 子会社：アンビション・エージェンシー	×	×	×	×	○

当社のデザイナーズマンション



<p>コンセプト</p>	<p>好立地×近代的でお洒落</p>
<p>設計</p>	<p>著名デザイナー・建築家 『PREMIUM CUBE』シリーズの人気の高い</p>
<p>こだわりの 設備事例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ セキュリティ（ハンズフリーキーシステム「Raccess（ラクセス）」 カラーモニター付オートロックシステム） ■ フローリング（LL50等級） ■ ドアノブ（KAWAJUN） ■ キッチン（Siセンサー搭載3口ガスコンロ） ■ キャビネット（アシストポケット付スライドキャビネット） ■ キッチン（シングルレバー） ■ パウダールーム（シングルレバー、収納付二面鏡） ■ バスルーム（アーチライン浴槽、スイッチ付エコフルシャワー） ■ トイレ（脱臭機能を搭載した洗浄便座） ■ 構造（音漏れなし） ■ セキュリティ設備、構造、音漏れなし ■ 24時間換気システム、浴室乾燥、暖房 <p style="text-align: right;">など</p>

近代化した不動産DX企業 全ての不動産分野で自前でDXを展開中

DX分野	アンビションDXホールディングス	従来の不動産会社
DX取組事例	全ての不動産分野でハンズオンでDXを展開中 (現場の課題を具現化) クオリティが高い	外部(テック企業)に依頼 商品(ツール)を使っており課題解決に至り難い
業務	デジタル	アナログ
書類	電子	紙
やりとり	インターネット	ファックス、電話
契約	オンライン契約	紙
説明	オンライン重要説明	対面
内見	高度なVRで完璧な内見体験	写真、訪問
物件管理	RPAで自動入力	手入力
	一つのプラットフォーム(オーナー、管理会社、仲介会社)	複数のツール
	工事も管理システム	メールや紙、FAXで
物件管理決済	オンライン決済	振込み、現金払い
データ管理	クラウド	ローカルサーバー
セキュリティ	記録が残るブロックチェーンで改ざん不可能	信用力が低い
データベース化	デジタル化されたデータを管理	デジタル化が難しい
物件探し	マッチングアプリでユーザーと部屋を探してくれる ルームコンシェルジュをマッチング	ユーザーが物件を検索
	オンライン接客	対面接客



AMBITION DX
HOLDINGS

Section 3

方針



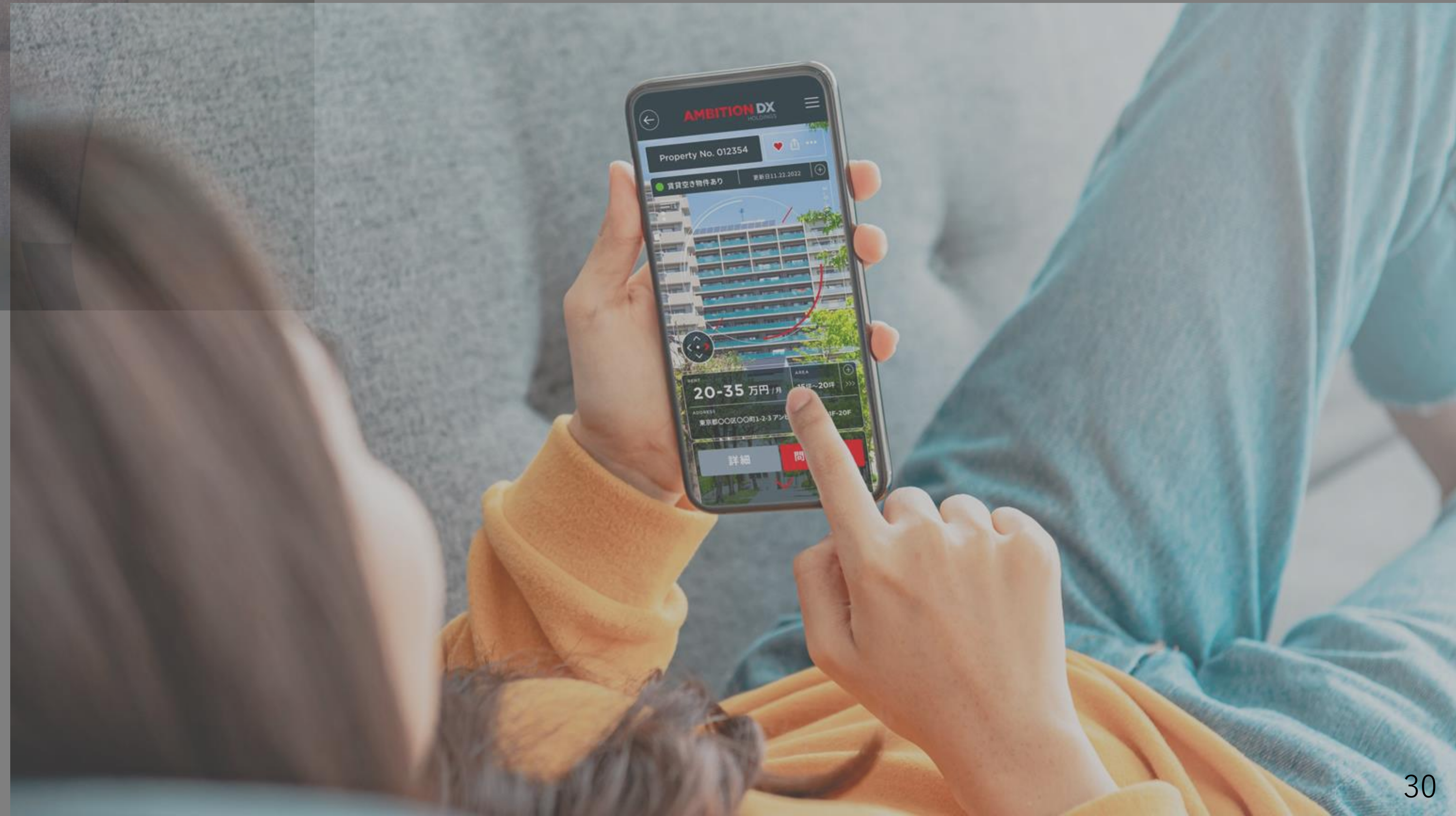
2021年10月1日、社名変更
株式会社アンビションDXホールディングス
(旧社名：株式会社AMBITION)

DXによって不動産ビジネスを変革し、
デジタルとリアルを融合した唯一の
不動産デジタルプラットフォームになる

気になる物件を、スマホをかざすだけで



高精度**VR**で
完璧な**内見体験**



全ての**説明・契約**
は**スマホ**で完結



オーナーも、管理会社も、仲介会社も。
ひとつのプラットフォーム

不動産ビジネスを一気通貫で効率化できるDXプラットフォームを構築し、快適な住まい体験を提供する

【売買DX】



- ・非対面での売買契約
- ・地価等のデータをクラウド上で管理
- ・クラウドファンディングでの物件提供

【賃貸DX】



- ・電子契約などペーパーレス化による業務効率化で楽な賃貸管理
- ・高入居率を安定継続
- ・従業員1人あたりの管理戸数UP **AMBITION Cloud**



- ・リモート接客・内見、電子契約の強化
- ・AI×RPAツール『ラクテック』で入力業務削減
- ・物件検索から契約、退去手続きまでをデータ連携

ブロックチェーン
を活用した安全で
シームレスなデータ連携

新ビジョンの実現に向けて

方針
01

DX推進による事業変革

既存ビジネスのバリューアップと新規事業の創出

方針
02

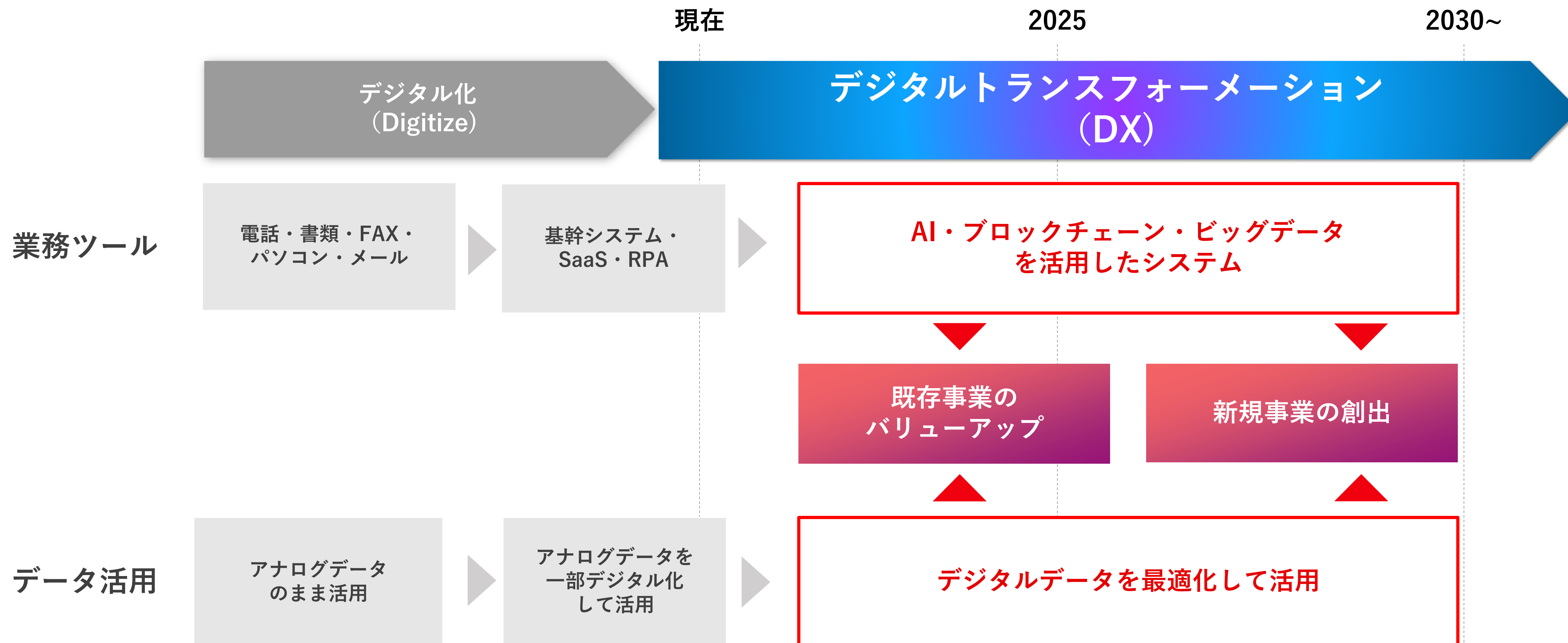
M&A推進など、非連続な業容拡大への取組み

M&Aや他社アライアンスの推進、ベンチャー投資等による業容拡大

方針
03

新たな不動産DXプロダクトの開発・販売による業界変革

テクノロジーの進化とデジタルデータの最適化によって
既存事業をバリューアップし、将来的には新規事業の創出へ



オーガニック成長に加え、
M&A・アライアンス・ベンチャー投資を加速し、業容を拡大

既存事業

オーガニック成長

- DX推進室の設置

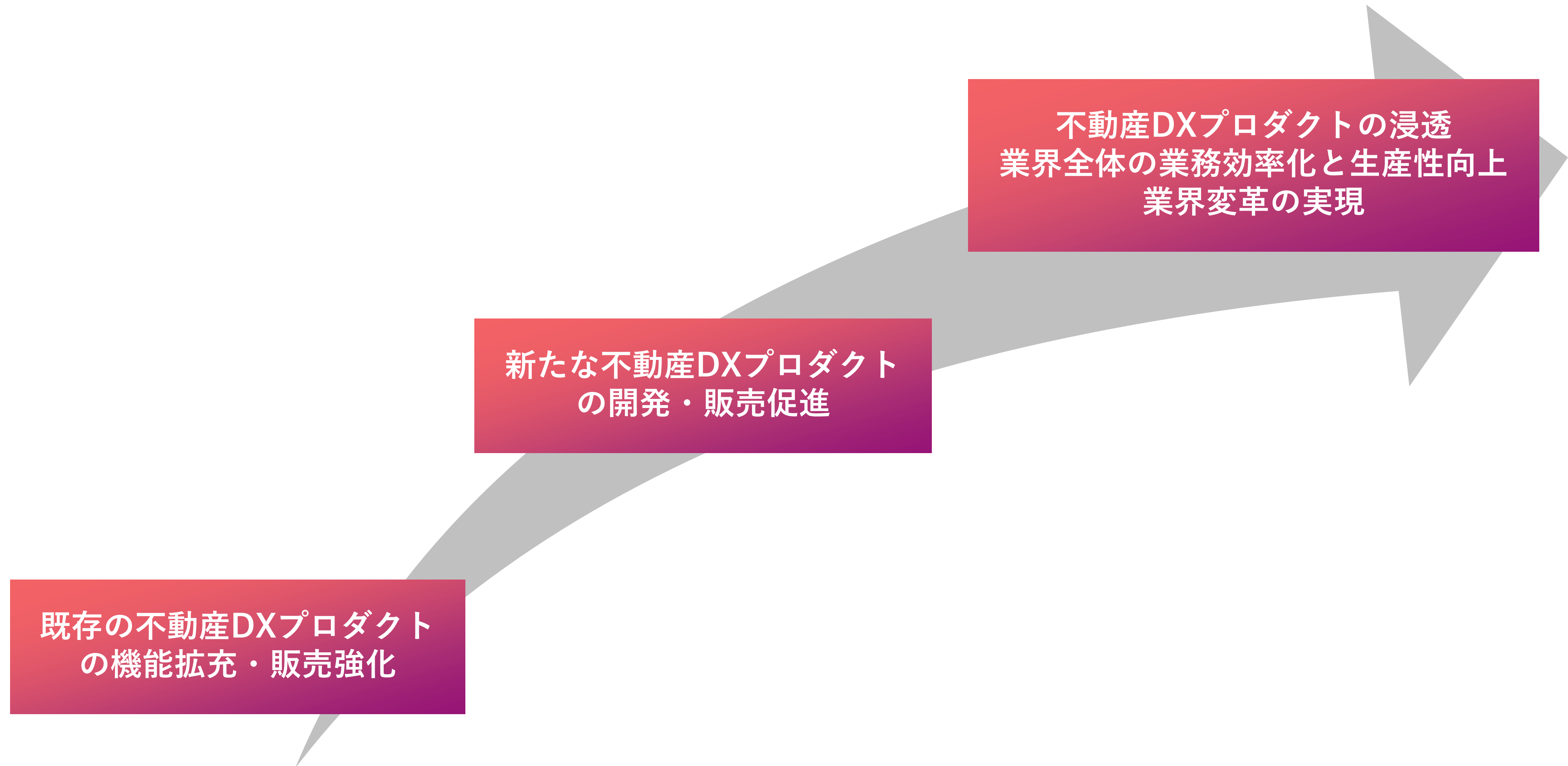
アライアンス・ベンチャー投資
の相乗効果による成長加速

- 不動産DXにつながるシナジー追求
- インキュベーション事業を新設

M&Aによる
非連続成長

- 不動産関連・DX関連企業を積極的に取得
- 新規案件のソーシング強化

不動産DX事業における既存サービスの機能拡充・外販強化に加え、
新たな不動産DXプロダクトの開発・販売促進、浸透によって業界変革を実現



今期方針（2022年6月期）

DX推進による既存ビジネスの変革と 不動産DX事業の成長

DX施策の3Q進捗状況

DX施策
01

DXシステム（アンビションクラウド）
：開発中

DX施策
02

電子契約パッケージ（オンライン契約・重説）
：外販プロダクト開発中

DX施策
03

社外DXプロダクト（ラクテック）
：完成

DX施策
04

コンシューマー向けサービス（ルームコン）
：テスト運用中

DX管理システム（アンビションクラウド）を開発中

→ 【賃貸DX】プロパティマネジメント事業の拡大が見込まれる

AMBITION Cloud

業務効率化と生産性向上を実現

開発：7～8割完成済み
来期：各システムをAPI連携
社内テストおよび社外販売開始

連携



『クラウドサイン』連携による
電子契約パッケージ

開発済み

契約進捗管理
システム

賃貸物件の募集から契約までの
進捗とコミュニケーションをク
ラウドで管理

開発済み

修繕管理
システム

管理物件における修繕工事の
オーナーと現場を繋ぎ、見積・
請求までをクラウド管理

開発済み

募集管理
システム

新規募集から二次募集までの複
雑な募集条件の変化をクラウド
管理

開発済み

債権管理
システム

請求業務・売掛金・債権をクラ
ウド管理

開発済み

退去管理
システム

解約受付から退去後の精算まで
をクラウド管理

開発中

新規受託管理
システム

新規受託営業のオートメーショ
ンをクラウド管理

ブロックチェーンでデータを管理

入居者



不動産オーナー



仲介会社



保証会社



内装会社



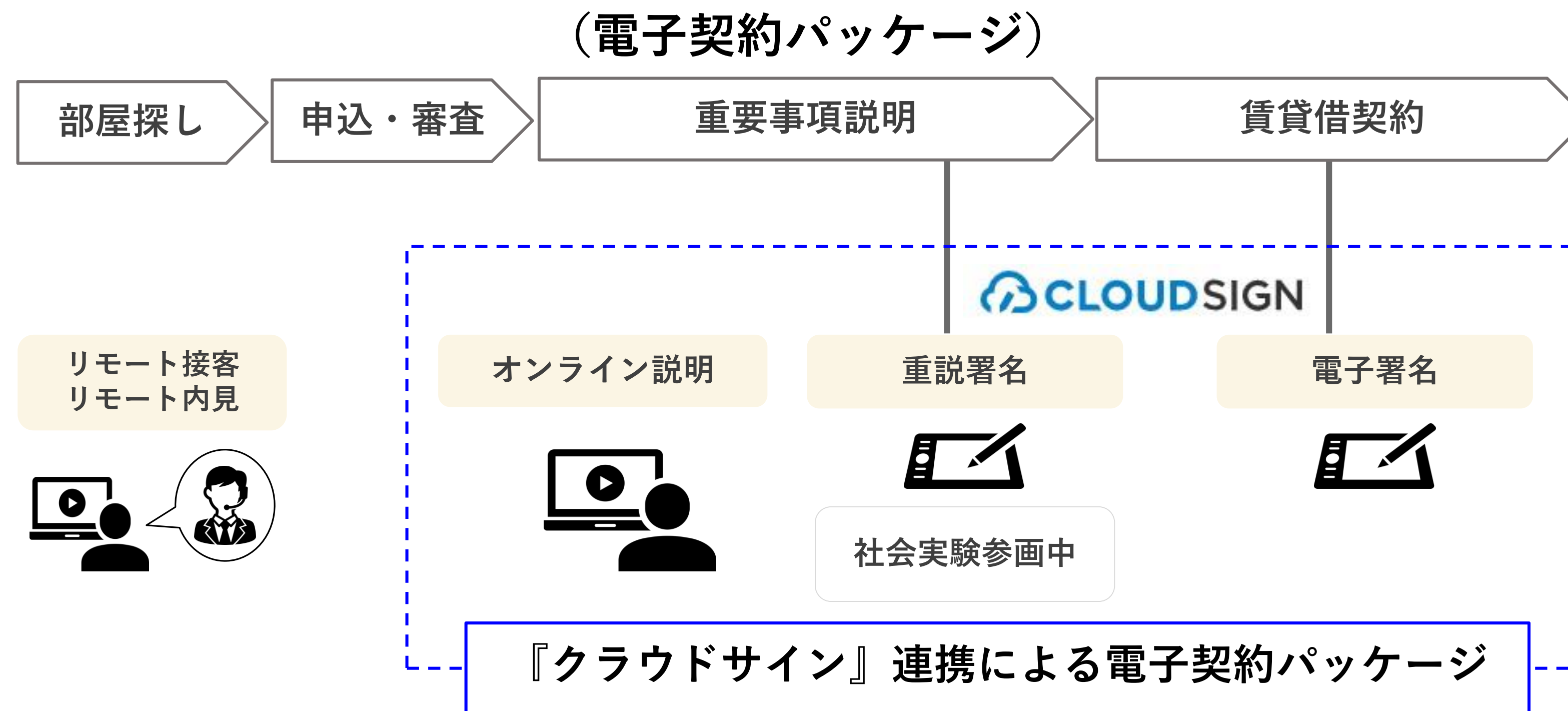
保険会社



第一生命少額短期保険
※ 子会社

電子契約パッケージ（オンライン重説、オンライン契約）を開発中
今期中の販売を目指す

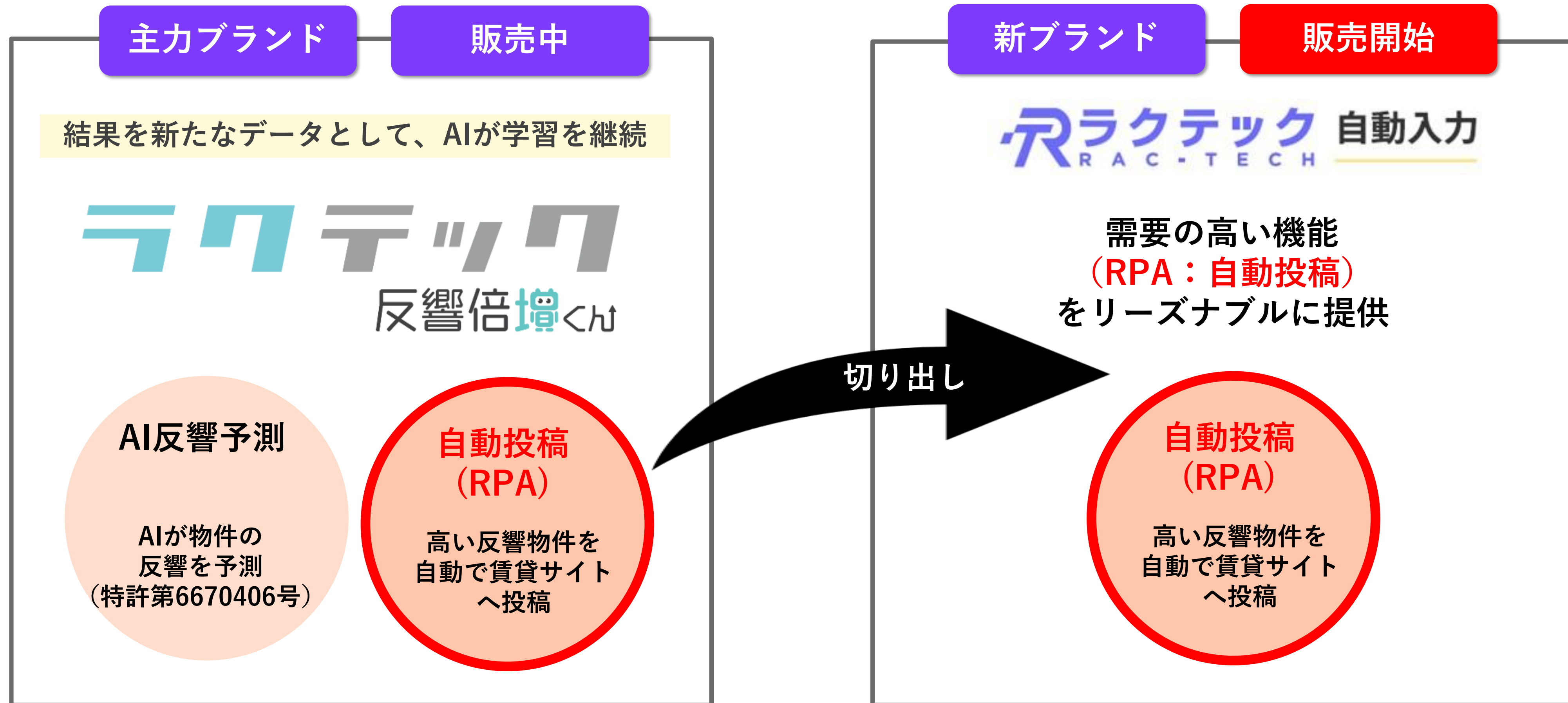
弁護士ドットコム社
(2020年11月業務提携)
クラウドサイン連携



電子契約の法改定（2022年5月18日施行）
リテックラース社（子会社）が今期中に販売開始予定

社外DXプロダクト（ラクテック）が完成 → 3Qから収益に貢献

仲介会社の**物件情報入力**を**自動化**
ワンクリックで実現



テスト運用中（来期中をめぐりに本格稼働予定）

お部屋探しユーザーとルームコンシェルジュ（不動産仲介営業マン）を繋ぐマッチングアプリ

『ルームコン -Room Concierge-』

広告費
削減効果ルームコンシェルジュ
（不動産仲介営業マン）
【登録制】

マッチング




リモートなど新しい
お部屋探し体験お部屋探しユーザー
【利用料金無料】

- ・ SNS型のUI/UXで、物件紹介の投稿を閲覧
- ・ 投稿への「いいね」やコメントによる評価
- ・ ルームコンシェルジュの検索やチャット機能

ダウンロード数
ルームコンシェルジュ数
増加中！

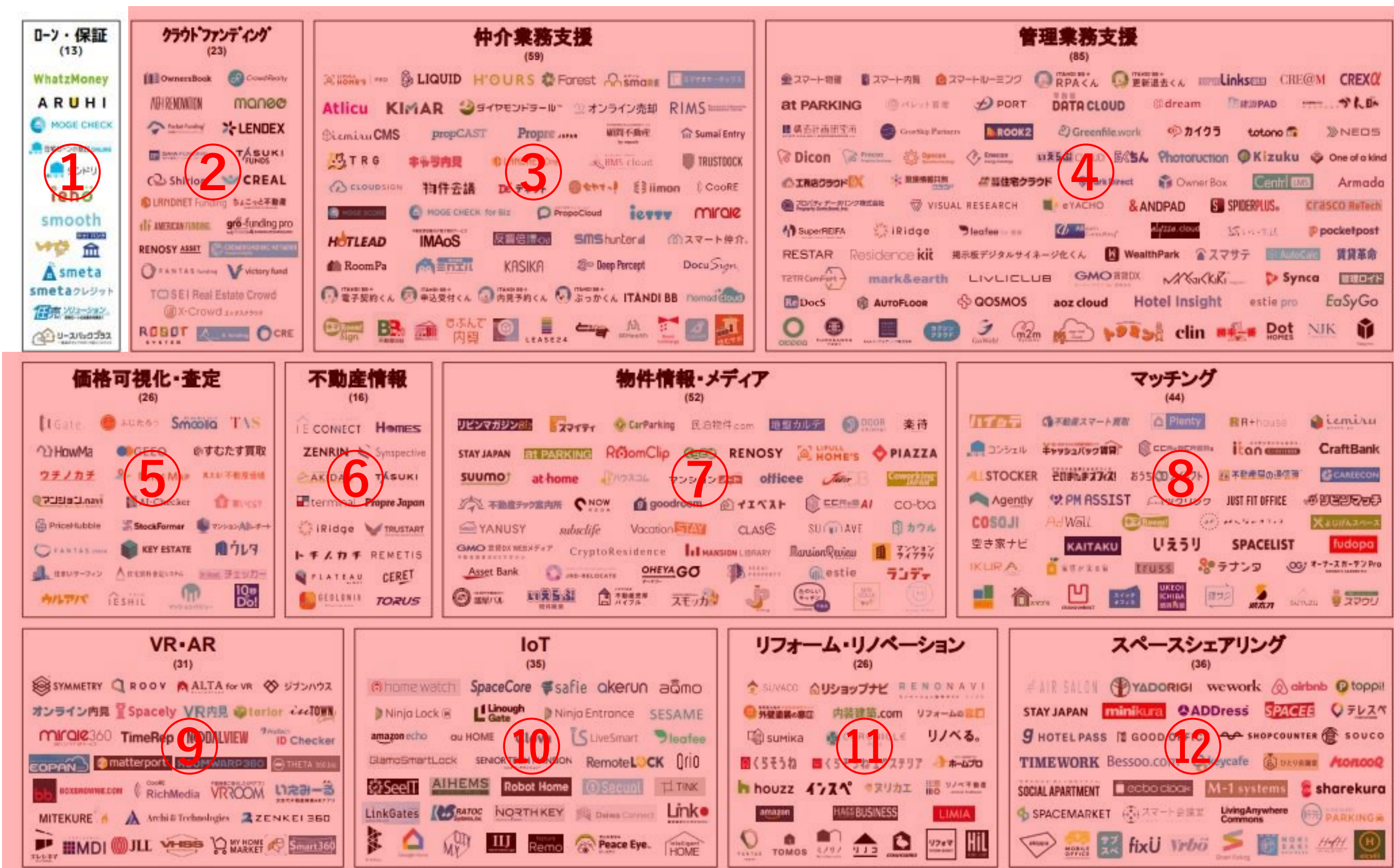
全国エリア、賃貸仲介業界全体に拡大予定！

不動産ビジネスを変革する アンビションDXプロダクト推進中！

	サービス名	サービス概要	開発中	社内運用	サービスイン
B2C	 ルムコン-Room Concierge-	お部屋探しユーザーとルームコンシェルジュ(不動産仲介営業マン)を繋ぐマッチングアプリ			●
	Res-Tech Raas	 自動入力	【一括物出し】AIによる反響予測と賃貸データを活用した物件情報の自動投稿ツール		
【個別物出し】主力ブランドの機能から、需要の高い機能（RPA：自動投稿）に限定したツール					●
オンライン電子契約パッケージ		オンライン上で重要事項説明や契約締結を可能とするシステム		●	
Cloud		契約進捗管理システム		●	
		修繕管理システム		●	
		募集管理システム		●	
		債権管理システム		●	
		退去管理システム	●		
		新規受託管理システム	●		

1 2 分野全て**不動産DX**サービスを展開中（「ローン・保証」を除く）

不動産テック カオスマップ（不動産業界でIT化された分野）



第7版：2021年7月（446サービス）

作成：一般社団法人不動産テック協会

NO	1 2 分野	当社関連DXサービス
①	ローン・保証	X
②	クラウドファンディング	○
③	仲介業務支援	○
④	管理業務支援	○
⑤	価格可視化・査定	○
⑥	不動産情報	○
⑦	物件情報・メディア	○
⑧	マッチング	○
⑨	VR/AR	○
⑩	IOT	○
⑪	リフォーム・リノベーション	○
⑫	スペースシェアリング	○



Section 4

2022年6月期（通期）

業績予想

配当予想

増収・大幅増益予想
上方修正発表：2022年2月14日

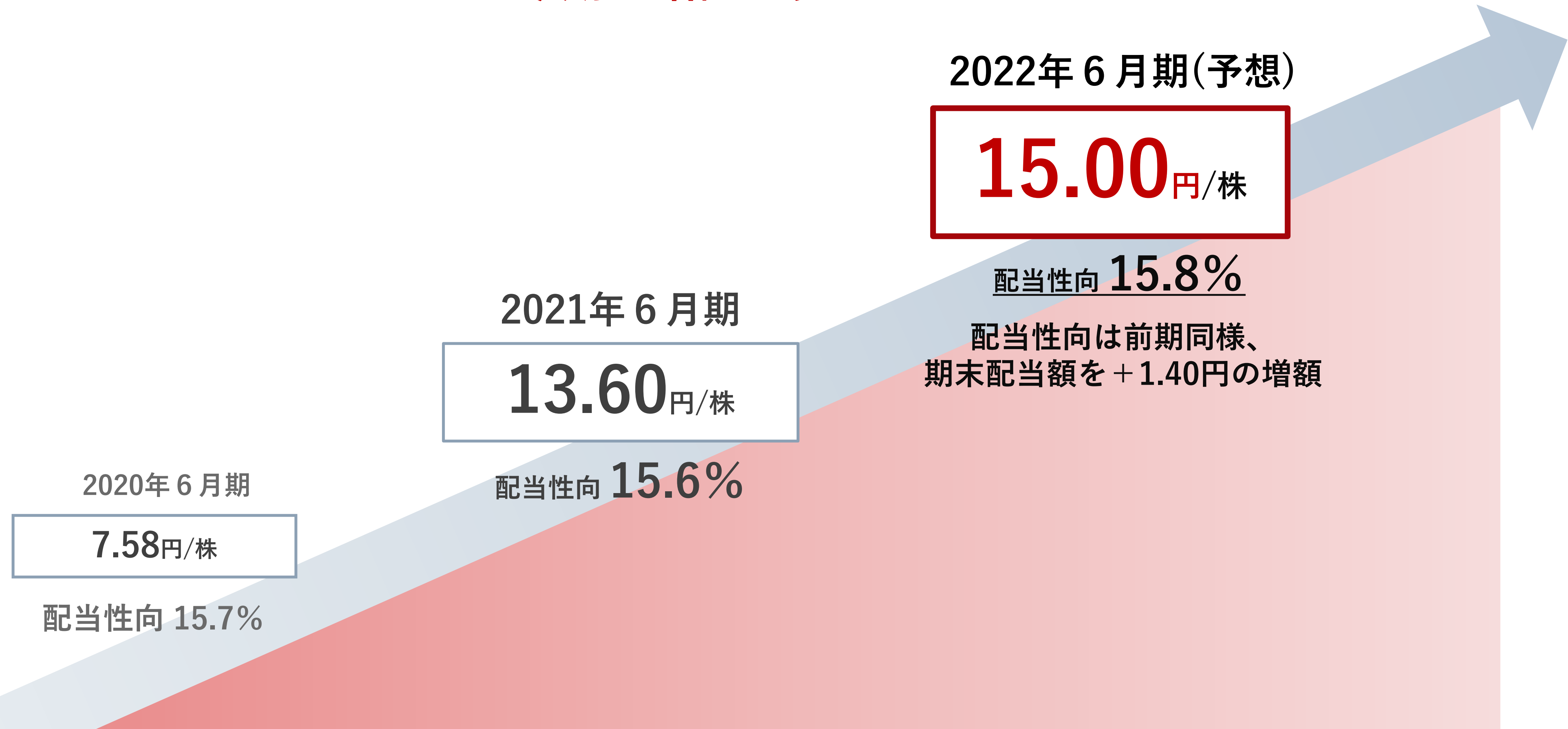
（単位：百万円）

	2021年6月期 実績	2022年6月期 予想※	前期比
売上高	30,529	30,605	+0.2%
EBITDA（参考値）	1,231	1,563	+27.0%
営業利益	978	1,301	+33.0%
経常利益	897	1,165	+29.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	595	646	+8.6%

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

更なる増配発表：2022年2月14日

成長分野への積極的投資を行いつつ、安定的な株主還元を継続する方針。
 今期も増配を見込む





AMBITION DX
HOLDINGS

Section 5

直近のTOPIX

ブロックチェーン技術を活用した独自の電子サイン “AMBITION Sign (アンビションサイン)”の提供を開始

ポイント

- ・当社は、当社に関わる全ての人々の生活・ビジネスを向上に導くための不動産の次世代管理クラウド『AMBITION Cloud』の構築に取り組んでおり、この度、ブロックチェーン（分散型台帳）を活用した『AMBITION Sign』をリリース。
- ・本システムは、不動産に関する契約が秘密性の高い情報を取り扱うことから、従来型の電子契約システムにブロックチェーンの要素を取り入れることにより、情報の安全性を高めるものとなります。

開発の背景

不動産業界の賃貸借契約において、これまでは対面での契約を義務付けられておりましたが、2021年5月12日の国会でデジタル改革関連法が成立したことにより、不動産業界においては、重要事項説明書等の書類手続き（宅地建物取引業法第34条、第35条、第37条関連）の電子化が可能になりました。

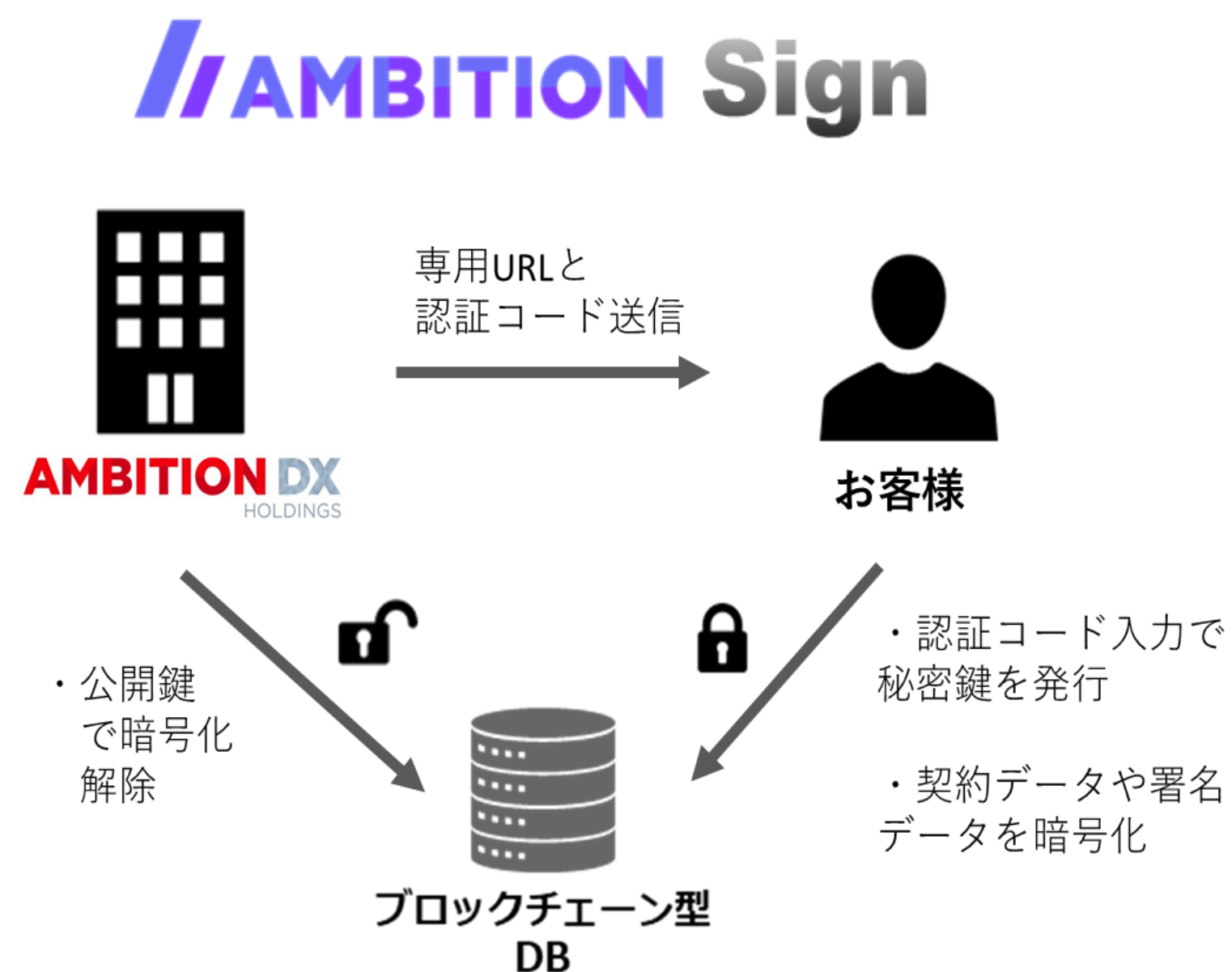
また、不動産業界の賃貸借契約のシーンでは、お客様、不動産業者双方にとって、面倒な手続きが多く、ツールもバラバラなため、契約自体が煩わしいという課題や、アナログな手書きメモ、エクセルシート、口頭説明などによる情報の散在が業界では常態化しております。

当社は、この課題解決に向けて、2022年2月に不動産賃貸契約に関わる一連の手続きをデジタル化、重要事項説明から契約締結まで全てオンラインで完結するシステム（AMBITION Cloud）を構築しております。また、この度、更なる安全な取引をお客様へ提供するため、ブロックチェーン（分散型台帳）技術を活用した電子サインを開発いたしました。

概要

本電子契約システム（AMBITION Sign）により、お客様のスマートフォンやPCにて営業担当者とビデオ会議を行いながら、簡単に契約を締結することが可能となります。さらに、秘密性の高い不動産契約情報について、ブロックチェーン（分散型台帳）技術を活用することで、情報漏えい改ざん防止、なりすましの防止などの堅牢性を高め、ご契約をセキュアな環境で行っていただくことが可能となります。また、本システム内のブロックチェーン技術は21年6月に資本業務提携したアリーワークス社のGrid Ledger System※を利用しております。

※既存のブロックチェーンの技術的な常識では不可能とされてきた、セキュリティとストレスのない処理速度を両立させた「次世代型ブロックチェーン」であり、AIやIoTなど新しい時代を創る技術を支える次世代のインフラ技術として、お客様の大切なデータを守り、ソリューション進化を加速させ、ビジネスをスケールアップさせていく独自の技術です。



次世代型お部屋探し「ルームピア」が「ビジネスエアポート」と提携し、 首都圏28拠点へ、一気に拡大

ROOMPIA
Tokyo Smart Life

(子会社：「株式会社アンビション・エージェンシーが展開」)

ポイント

- ・子会社の株式会社アンビション・エージェンシーは、2022年3月からライフ&ワークデザイン株式会社が運営する会員制シェアオフィス「Business-Airport (ビジネスエアポート)」と提携。「ルームピア」は合計28拠点と大幅に拠点拡大。
- ・アンビション・エージェンシーが手掛ける次世代型お部屋探し「ルームピア」は、VRやオンラインを活用したリモート接客・内見や、DX推進による電子契約やIT重説など、ITソリューションツールを活用したお部屋探しサービスを提供。
- ・ビジネスエアポートは、ビジネスの様々なニーズに応える充実したオフィス環境・設備と、全拠点がビジネスの主要エリアで駅から徒歩圏内という利便性を兼ね備えた会員制シェアオフィス。
- ・提携により、ルームピアはアクセスのよいロケーションの店舗が19拠点増加し、お部屋探시를希望する顧客へのサービス向上につながると共に、お部屋探しのサポートをするスタッフのリモートワーク、テレワーク等の新しい働き方を後押しするもので、当社グループが進める不動産DX推進の一端を担う挑戦。



<ルームピア既存の9拠点>

中目黒店、銀座店、高田馬場店、渋谷恵比寿店(4/1出店)、東大宮店、池袋東口店、上野御徒町店(4/1出店)、Web課、法人課

<新設19拠点> 東京、丸の内、日比谷、神田、日本橋、京橋、青山、六本木、新橋、竹芝、田町、品川、目黒、渋谷フクラス、渋谷南平台、恵比寿、新宿三丁目、横浜、西梅田

投資用デザイナーズマンション 『PREMIUM CUBE 東高円寺』 販売開始のお知らせ

- ・当社の子会社で、新築投資用デザイナーズマンションの開発を手掛ける株式会社ヴェリタス・インベストメントは、『PREMIUM CUBE 東高円寺』（東京都杉並区、竣工予定日：2022年5月下旬、入居予定日：2022年6月上旬）につきまして、販売を開始しました。
- ・当『PREMIUM CUBE』シリーズは、都内プレミアムエリアを中心に、そのデザイン性やロケーションの良さを、お客様にご好評いただいております。常に早期完売しています。



『友人に紹介したい不動産賃貸仲介会社 No.1』 『オンライン接客 業界人気 No.1』 を獲得し、3冠受賞！

- ・ 子会社が運営する「ルームピア」は、2022年3月期のブランドのイメージ調査※において、『友人に紹介したい不動産賃貸仲介会社 No.1』及び 『オンライン接客業界人気 No.1』の2部門で新たに第1位を獲得
- ・ 2021年4月期のブランドのイメージ調査※において、『お客様信頼度 No.1 東京の賃貸不動産会社』で第1位を獲得しており、3冠受賞を達成
- ・ 当社の子会社で、賃貸DX賃貸仲介事業を手掛ける株式会社アンビション・エージェンシーが運営するROOMPIA（ルームピア）は現在28拠点にて運営。

皆さまに愛され、ついに
3冠受賞！

AWARD
東京の
賃貸不動産会社
お客様信頼度
No.1

AWARD
友人に紹介したい
不動産
賃貸仲介会社
No.1

AWARD
オンライン接客
業界人気
No.1

AWARD
No.1
2022
JMR
ORGANIZATION

日本マーケティングリサーチ機構調べ
調査概要：2022年3月期__ブランドのイメージ調査
調査期間：2022年1月31日～2022年3月29日

ROOMPIA
Tokyo Smart Life

■調査概要

調査企画：日本マーケティングリサーチ機構
調査概要：2022年3月期 ブランドのイメージ調査

■調査手法、期間

調査手法：インターネットでのアンケート調査
調査期間：2022年1月31日～2022年3月29日

■取得キーワード

『友人に紹介したい不動産賃貸仲介会社 No.1』
『オンライン接客 業界人気 No.1』



【IRに関するお問い合わせ先】
メールアドレス: ir@am-bition.jp

免責事項

本資料は、株式会社アンビションDXホールディングス（以下「当社」）が当社及び当社グループ会社（以下「当社グループ」）の企業情報等の提供のために作成したものであり、国内外を問わず、当社が発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載されている当社及び当社グループに関連する見通し、計画、目標等の業績予想や将来予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。

予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来見通しと大きく異なる場合があります。